

わたしの

新聞

コンクール



高校生 新聞感想文 作品募集

選挙権を持つ年齢が18歳に引き下げられ、高校生も投票に参加しています。有権者としての自覚を持ち、社会の在り方を考えることが求められています。今の社会はあなたにとってどう見えていますか。新聞を通して社会を読み取り、あなたが思っていること、考えていること、言いたいことを感想文にまとめてみませんか。

募集要項

応募資格：富山県在住の高校生

賞：入賞・入選者には、賞品やオリジナルグッズを贈ります。

発表：2026年2月下旬

応募先：持参の場合…学校または北日本新聞販売店、

北日本新聞社（本社・支社）

郵送の場合…〒930-0094 富山市安住町2-14

北日本新聞社「わたしの新聞コンクール」係

選考方法：北日本新聞社内で予備審査を行い、

中間、最終審査を経て入賞・入選作品を決めます。

字数：800字以上1200字以内

市販の400字詰め原稿用紙使用可能。

専用原稿用紙はHPからダウンロード、

印刷できます。

※字数が規定に満たない場合、または超えた場合は審査対象外となります。

※AI（人工知能）の使用は不可とします。



応募締切 **2025年10月31日(金)** ※必着

わたしの新聞コンクール Q

作文の課題 以下のテーマ①、②のいずれかを選んでください。

テーマ
1

自由課題

新聞記事を読んだ感想

- 「〇〇新聞〇月〇日〇面〇〇の記事を読んで」と副題を付け、記事の感想やあなたの考えを書いてください。webunプラスの記事も使用できます。
- 題材とした新聞記事は原稿用紙に貼り、作品の最後にホチキスでとめてください。

テーマ
2

新聞について考えたことを 題材としてください。

- 「新聞と社会」「スマホと新聞」「新聞とくらし」(例)などと題して書いてください。



お問い合わせ 北日本新聞社読者センター

TEL.076-445-3412 (平日9時～17時)



高校生のみなさんへ

新聞で学ぶ「社会の今」

社会の今を知り、社会との向き合い方を考えることは、自分の将来や、どのように生きていくのかを選択することにつながる大きな課題です。18歳から投票に参加できるようになり、高校生のみなさんには、有権者の一人として、課題を読み取り、考え、伝える力を高めることが求められています。

政治、経済、事件事故や文化、イベント、スポーツなど、身近な話題から世界規模の大ニュースまで、新聞には毎日、いろいろな分野の記事が載っています。新聞を読むことは、世の中に目を開き、興味関心を広げるのに役立ちます。確かな取材に裏付けられた情報を伝える新聞には、「社会の今」がぎっしり詰まっています。社会を学ぶのに最適な教材なのです。



《応募の注意点》

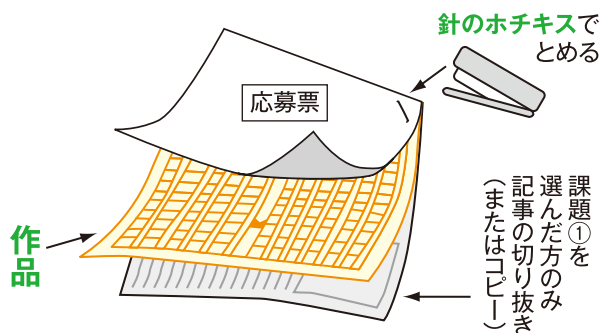
- 下記の応募票に記入し、原稿用紙に貼り付けて原稿の一番上に置き、ホチキスで右上をとめてください。
- この応募要項及び原稿用紙はHPからダウンロードできます。
- webunプラスの記事も使用できます（文字が読める大きさと印刷したものを使ってください）。

※作品は未発表のものに限り、AI（人工知能）の使用は不可とします。作品の著作権は北日本新聞社に帰属し返却しません。

作品及び記入された個人情報、北日本新聞社と販売店で適切に管理し、北日本新聞の各種ご案内に使用します。

※金賞銀賞作品は、北日本新聞の特集紙面等で顔写真付きで紹介します。

※作品公表の際には、表現を変更させていただくことがあります。



第22回 わたしの新聞コンクール

主催／北日本新聞社、北日本会（北日本新聞販売店会）

後援／富山県教育委員会、富山県市長会、富山県町村会、富山県各市町村教育委員会、富山県高等学校長協会、富山県中学校長会、富山県小学校長会、富山県私立中学高等学校協会、富山県PTA連合会、富山県高等学校PTA連合会、富山県児童クラブ連合会、富山県ケーブルテレビ協議会

キリトリ線

わたしの新聞コンクール 新聞感想文部門・応募票

ふりがな	男・女	ふりがな
名前		保護者名
住所		☎
学校名	学校	学年
感想文題名		
課題選択 (1か2に○)	1. 新聞 月 日付の記事を読んで 2. 新聞について思うこと	

※原稿用紙の **1行目に** 感想文題名 **2行目に** 課題選択(例)「 新聞 月 日付の記事を読んで」 **3行目に** 学校・学年・名前を記入したあと、本文を始めてください。